

台風19号の小曾木地区へ与えた影響などの記録

10月12日(土)に日本を縦断する形で通過した台風19号は、集中豪雨により各地に大きな被害をもたらしました。小曾木地区での雨量も、連続雨量で433mm、最大雨量は1時間あたり39mmを示しています。青梅市でも、「警戒レベル4避難指示(緊急)」まで発令され、避難場所として開設された小曾木市民センターには60名以上、初開設となった第六中学校へも18名と過去最大の避難者を記録しました。前後の台風も含めて自然の怖さを痛感し再認識した今回の記録をまとめ、今後へ活かす材料としたいと思います。

小曾木郵便局前の黒沢川の水位の変化



10月12日の雨量グラフ、主な出来事、避難発令の状況

8時30分に市内全域の土砂災害警戒区域および浸水予想区域に「警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始」が発令された時点では、黒沢川の水位も低く車での避難もしやすい状況でした。14時に同じ区域に「警戒レベル4 避難勧告」が発令された頃には小曾木郵便局前の小曾木街道は20cmほど冠水し、車での走行が困難な状況になっていました。その後の冠水状況はさらに悪化し、「避難指示(緊急)」が発令された頃には通行不能な危険状態となっています。黒沢川と成木川の合流地点落合沢付近でも道路冠水が発生、21時過ぎには成木街道の柳川⇄聖明園間で土砂崩れが発生するなど、小曾木地区各地、市内各地でも災害が多発しました。

21:20頃、成木街道土砂崩れ



今回を超える災害レベルでも命を守るために、今回の状況からわかること

小曾木地区で大切なことは、①自宅が大雨時に避難が必要な場所なのかを確認する、②避難が必要であれば安心して過ごせる場所を決めておき、「警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始」の発令時点で速やかな避難です。



長淵地区での水害

